

## 世界初の液化水素運搬船「すいそふろんていあ」進水

令和元年12月11日（水）、川崎重工業株式会社 神戸工場にて世界初となる液化水素運搬船の進水式が執り行われました。液化水素運搬船は、マイナス253℃に冷却し、体積が気体の800分の1となった液化水素を、安全かつ大量に長距離海上輸送するために開発されました。今後、同社播磨工場で製造している液化水素貯蔵タンクを搭載し、2020年秋頃に竣工の予定です。竣工後、本船は2020年度に実施される国際水素エネルギーサプライチェーン構築に向けた技術実証試験に投入され、豪州で製造された液化水素を日本へ輸送します。

神戸空港島では、運搬された液化水素を荷役するための基地の建設も進んでおり、2020年6月の完成に完成予定です。今後、二酸化炭素の排出を抑制しながらエネルギーの安定供給を可能とする水素サプライチェーンの構築に向け神戸港での実証実験が進められます。



船体主要寸法：116.0m（全長）×19.0m（幅）×10.6m（深さ）

総トン数：約8,000 t

航海速力：約13knots（時速約24 km）

定員：25名